



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年4月23日
東

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所
コード番号 7309 URL <https://www.shimano.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 泰三
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 金井 琢磨 (TEL) 072-223-3254
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	113,539	12.9	16,142	20.3	15,404	△46.6	9,786	△58.7
2024年12月期第1四半期	100,557	△20.2	13,421	△52.1	28,852	0.9	23,687	17.2

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期△16,151百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 51,576百万円(73.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	110.20	—
2024年12月期第1四半期	263.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	912,749	836,850	91.6
2024年12月期	958,953	883,613	92.0

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 835,715百万円 2024年12月期 882,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	154.50	—	154.50	309.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	169.50	—	169.50	339.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	228,000	5.1	30,000	△3.1	34,550	△37.9	23,800	△45.5	269.59
通期	470,000	4.2	70,000	7.6	88,250	△10.6	63,800	△16.4	722.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期 1 Q	89,120,000株	2024年12月期	89,120,000株
2025年12月期 1 Q	837,891株	2024年12月期	54,078株
2025年12月期 1 Q	88,804,651株	2024年12月期 1 Q	89,832,613株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におきましては、世界経済は、インフレ減速を背景とした底堅い成長を維持したものの、ウクライナや中東情勢の混迷の長期化や中国経済の低迷に加え各国政策の動向も受けて、先行きに対する不透明感が高まりました。

欧州では、インフレの鎮静化に伴い、個人消費は回復し、緩やかな景気の回復基調が継続しました。

米国では、通商政策の変更を受けて消費者マインドは低下したものの、安定した雇用環境を背景に景気は底堅く推移しました。

中国では、引き続き不動産不況に起因した国内需要が低迷した結果、景気は弱含みで推移しました。

日本では、好調なインバウンド需要に加えて雇用・所得環境の改善から個人消費が持ち直し、景気は緩やかな回復基調を辿りました。

このような環境の下、自転車、釣具への関心は継続し、当第1四半期連結累計期間における売上高は113,539百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は16,142百万円（前年同期比20.3%増）、経常利益は15,404百万円（前年同期比46.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,786百万円（前年同期比58.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

長期的なトレンドとして自転車への高い関心が続くなか、市場在庫は緩やかに調整が進捗したものの、依然として高めの水準で推移しました。

海外市場においては、欧州市場では、市場在庫はやや高めの水準で推移した一方、需要の安定化に伴い完成車の店頭販売に回復の兆しが見え始めました。

北米市場では、完成車の店頭販売は軟調に推移したものの、市場在庫は適正水準に戻りました。

アジア・中南米市場においては、個人消費の低迷が継続し完成車の店頭販売は弱含みで推移した一方、市場在庫の水準に改善の兆しが見え始めました。中国市場では、スポーツサイクリングへの人気は高いなか、需要は堅調であったものの、市場在庫は昨年末から、やや高めの水準で推移しました。

日本市場においては、市場在庫は適正レベルで推移したものの、完成車の価格高騰が影響し店頭販売は低調となりました。

このような市況の下、ロードバイク向けコンポーネント「SHIMANO 105」やグラベルバイク向けコンポーネント「SHIMANO GRX」などの製品にご好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は87,972百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は14,503百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

② 釣具

釣具への関心が継続するなか、販売は弱含みで推移したものの、市場在庫の調整は進展しました。

日本市場においては、市場在庫の調整が進展した一方、寒波や物価高の影響を受けて消費者マインドが冷え込み、販売は力強さを欠きました。

海外市場においては、北米市場では、市場在庫が適正に推移したものの、天候不順の影響もあり販売は前年並みとなりました。

欧州市場では、販売は引き続き堅調に推移し、市場在庫は適正な水準で推移しました。

アジア市場では、個人消費の低迷に加えて悪天候の影響を受け、販売は弱含みとなり、市場在庫はやや高めの水準で推移しました。

豪州市場では、良好な天候と安定した釣況により、販売は好調に推移し、市場在庫は適正な水準を維持しました。

このような市況の下、新製品のスピニングリール「TWIN POWER XD」、ベイトリール「ANTARES」に高い評価をいただくとともに、引き続きロッド「POISON ADRENA」などの製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は25,468百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は1,636百万円（前年同期比44.7%減）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は98百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は1百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は912,749百万円（前連結会計年度比46,204百万円の減少）となりました。これは、建設仮勘定が9,475百万円、受取手形及び売掛金が7,830百万円、商品及び製品が4,653百万円それぞれ増加し、現金及び預金が66,152百万円、建物及び構築物が2,634百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は75,898百万円（前連結会計年度比558百万円の増加）となりました。これは、買掛金が1,655百万円増加し、繰延税金負債が650百万円、固定負債の製品保証引当金が300百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は836,850百万円（前連結会計年度比46,762百万円の減少）となりました。これは、為替換算調整勘定が26,530百万円、自己株式の取得により16,850百万円、利益剰余金が3,974百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間において、ドル安の進行に伴うアジア通貨高の影響から営業外費用が発生したこと等を踏まえ、次のとおり変更いたします。

2025年12月期 第2四半期（累計）連結業績予想数値の変更（2025年1月1日～2025年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	228,000	30,000	41,300	31,000	348.06
今回修正予想 (B)	228,000	30,000	34,550	23,800	269.59
増減額 (B-A)	0	0	△6,750	△7,200	
増減率 (%)	0.0	0.0	△16.3	△23.2	
前年第2四半期（累計）実績 (2024年12月期 第2四半期(中間期))	216,887	30,955	55,625	43,704	487.49

2025年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	470,000	70,000	95,000	71,000	797.16
今回修正予想 (B)	470,000	70,000	88,250	63,800	722.68
増減額 (B-A)	0	0	△6,750	△7,200	
増減率 (%)	0.0	0.0	△7.1	△10.1	
前期実績 (2024年12月期)	450,993	65,085	98,674	76,329	853.36

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	534,045	467,893
受取手形及び売掛金	39,902	47,732
商品及び製品	73,683	78,337
仕掛品	39,044	40,207
原材料及び貯蔵品	7,914	6,926
その他	17,265	17,542
貸倒引当金	△395	△377
流動資産合計	711,461	658,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,844	78,210
機械装置及び運搬具(純額)	31,176	29,820
土地	15,117	14,905
リース資産(純額)	5,649	5,666
建設仮勘定	44,624	54,100
その他(純額)	5,297	5,493
有形固定資産合計	182,708	188,195
無形固定資産		
のれん	1,661	1,546
ソフトウェア	13,424	13,336
その他	9,874	10,655
無形固定資産合計	24,960	25,538
投資その他の資産		
投資有価証券	25,892	26,717
繰延税金資産	8,382	8,372
退職給付に係る資産	2,900	2,921
その他	3,097	3,190
貸倒引当金	△450	△450
投資その他の資産合計	39,822	40,752
固定資産合計	247,491	254,486
資産合計	958,953	912,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,111	17,766
未払法人税等	9,803	9,702
賞与引当金	3,479	3,196
役員賞与引当金	160	39
製品保証引当金	1,173	1,160
その他	25,074	25,333
流動負債合計	55,802	57,199
固定負債		
繰延税金負債	3,018	2,367
退職給付に係る負債	1,310	1,275
製品保証引当金	12,151	11,850
その他	3,057	3,205
固定負債合計	19,537	18,699
負債合計	75,339	75,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,640	5,640
利益剰余金	675,370	671,396
自己株式	△1,186	△18,036
株主資本合計	715,438	694,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,139	7,812
為替換算調整勘定	159,819	133,288
その他の包括利益累計額合計	166,958	141,101
非支配株主持分	1,215	1,135
純資産合計	883,613	836,850
負債純資産合計	958,953	912,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	100,557	113,539
売上原価	61,513	68,442
売上総利益	39,044	45,097
販売費及び一般管理費	25,623	28,955
営業利益	13,421	16,142
営業外収益		
受取利息	5,907	4,608
受取配当金	109	92
為替差益	9,401	-
その他	314	176
営業外収益合計	15,733	4,878
営業外費用		
支払利息	8	28
為替差損	-	5,451
自主回収費用	136	2
その他	157	132
営業外費用合計	301	5,615
経常利益	28,852	15,404
特別損失		
工場建替関連費用	60	7
特別損失合計	60	7
税金等調整前四半期純利益	28,792	15,397
法人税、住民税及び事業税	5,679	5,891
法人税等調整額	△675	△278
法人税等合計	5,003	5,613
四半期純利益	23,788	9,783
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	100	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,687	9,786

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	23,788	9,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,892	673
為替換算調整勘定	25,895	△26,608
その他の包括利益合計	27,787	△25,935
四半期包括利益	51,576	△16,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,375	△16,070
非支配株主に係る四半期包括利益	200	△80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年2月12日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付けにより、2025年2月13日から2025年3月31日までに普通株式783,800株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が16,850百万円増加しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	76,090	24,369	97	100,557	—	100,557
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	76,090	24,369	97	100,557	—	100,557
外部顧客への売上高	76,090	24,369	97	100,557	—	100,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	76,090	24,369	97	100,557	—	100,557
セグメント利益又は損失(△)	10,471	2,961	△11	13,421	—	13,421

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	87,972	25,468	98	113,539	—	113,539
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	87,972	25,468	98	113,539	—	113,539
外部顧客への売上高	87,972	25,468	98	113,539	—	113,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	87,972	25,468	98	113,539	—	113,539
セグメント利益又は損失(△)	14,503	1,636	1	16,142	—	16,142

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	6,133百万円	6,495百万円